

年頭のごあいさつ

東京都麺類協同組合
東京都麺類生活衛生同業組合

理事長 田中秀樹

新春のお慶びを申し上げます。組合員並びに関係各位の皆様におかれましては、お元気で新年をお迎えのことと存じます。

平素は、組合の諸事業に対しまして、ご理解とご協力を賜り、役員一同心より厚く御礼申し上げます。

いよいよ今年は「2020東京オリンピック・パラリンピック」の開催年となります。昨年の消費税率引き上げや国際経済における貿易摩擦など、経済的に不透明な要素が大きい中、このオリンピック・パラリンピックを好機として、麺類食のPRやインバウンド需要の獲得などを通じて、消費拡大に結び付けたいと考えています。組合としては、キャッシュレス化の推進や多言語対応などをさらに喚起いたします。

昨年、当組合の主な事業といたしましては、「2019麺産業展」の開催をはじめとして、「そばの日」サービス券の配布、厚生労働省の補助金を活用した「大学生そば打ち体験STUDIO」の実施、都中小企業団体中央会の支援による「チャンスをつかもう22020プロジェクト」など各種事業において所期の成果を上げることができました。

業界テーマは引き続き「めんは元気な健康食」です。安全・安心な商品を提供し、消費者の健康に貢献することが業界への信頼に結びつくと確信します。

本年の主な行事としては、「2020麺産業展」の開催、「第86回全国麺類飲食業者福井大会」への参加等、通年の行事も含め、組合員各位のご理解とご協力のもと、各種事業を積極的に推進いたします。また、「チャンスをつかもう2020プロジェクト」において、引き続き「東京二八蕎麦」のブランド化に取り組みます。

また、日常の営業および後継者への円滑な事業承継に直結する各種税制や予算措置に対する要望・要請については、少しずつではありますが、着実に要請が実現し、個人ならびに中小法人の事業承継に関する税制優遇措置が図られました。今後も日麺連・全麺生連・政治連盟および関係団体と緊密に連携を図り、関係各所に対して必要な要請を継続的かつ積極的に行ってまいります。

本年も組合員各位の一層の繁栄に向け、「組合員の視点に立つ」組合運営を心がけ、組合員のための組合づくりを目指して役員一同努力してまいりますので、何卒、組合員の皆様のご高配とご支援を重ねてお願い申し上げます。

新しい年が皆様をはじめご家族の方にとりましても、よりいっそう良い年でありますよう祈念申し上げ、年頭のごあいさつといたします。